

がん治療の変化に伴う 患者教育のあり方とケアの質保証

がん治療はゲノム時代へと革新しているなか、副作用、有害事象、後遺症も変化してきています。また国のがん政策により、医療はより専門性を高め、チーム医療が推進され、入院期間の短縮化、地域医療へ返す仕組みへと変わってきています。高度な医療を受ける患者は高いアドヒアランスを求められ、自立した存在として治療への参加が求められるようになってきました。そこで静岡県立静岡がんセンターの現状から医療・ケアの質を保証しながら、治療に参加する患者の本来の力を見極め高める、患者教育のあり方についてお話しします。

静岡県立静岡がんセンター がん看護専門看護師

講師 清 好志恵 先生
(せい よしえ)

1997年3月 佐賀大学医学部看護学科卒業
1997年4月 国立がん研究センター中央病院
2000年4月 旭川医科大学医学部看護学科
成人・老人看護学講座助教
2002年4月 静岡県立静岡がんセンター
2010年4月 東京慈恵会医科大学大学院医学研究科
看護学専攻修士課程がん看護専攻
2012年12月 がん看護専門看護師免許取得
2018年4月 静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程
がん放射線療法看護分野主任教員



日時：2019年3月19日(火)18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室

司会：山手美和 先生 (療養支援看護学部門)

参加無料／事前登録不要

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
 - ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
 - ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp
【次回予定】 2019年4月16日(火) 18時～19時 / 福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室
(講師) 鹿児島大学研究推進機構難治ウイルス病態制御研究センター 血液・免疫疾患研究分野 教授 石塚 賢治 先生